

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 中国電力株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 730 -8701 広島県広島市中区小町4-33	
本票作成	部署名：環境部門（地球環境担当）				
主たる業種	分類コード	33	業種名：電気業		
事業の概要	事業内容：電気事業 従業員数：1,582人（平成25年3月末現在）				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	玉島発電所		倉敷市玉島乙島字新湊8253番2	
	②	水島発電所		倉敷市潮通1丁目1番地	
	③	岡山支社		岡山市北区内山下1丁目11番1号うちさんげ電気ビル内	
	④	岡山計算センター		岡山市北区津倉町2丁目2番2号	
	⑤	岡山電力所		岡山市南区福成3丁目4番11号	
⑥	倉敷営業所		倉敷市中庄2293番地の2		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 35 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 4.9 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 24 年度)			目標年度 (平成 29 年度)					
	328,000 t CO <sub>2</sub>			324,000 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 24 年度) の排出量					
	①	玉島発電所		199,000 t CO <sub>2</sub>					
	②	水島発電所		115,000 t CO <sub>2</sub>					
	③	岡山支社		1,840 t CO <sub>2</sub>					
	④	岡山計算センター		1,710 t CO <sub>2</sub>					
	⑤	岡山電力所		1,410 t CO <sub>2</sub>					
⑥	倉敷営業所		1,360 t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	販売電力量 (岡山県内)		基準年度	目標年度
			0.0192	0.0183
		kg CO <sub>2</sub> / ( kWh )	kg CO <sub>2</sub> / ( kWh )	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 24 年度)	達成率 (%)
指標の状況	電力供給業	100.3% 以上	99.3%	99.0

【目標削減率設定の基本的な考え方】

◆当社には電力供給義務があり、総排出量を当社で調整することはできないことから、削減目標として「原単位基準」を採用しました。また、当社はお客さまに電気をお届けすることを事業としていることから、「温室効果ガスの排出量と密接な関係を持つ値」として、岡山県内の販売電力量を採用しました。

◆当社は中国地方各地に保有する発電設備を広域的に運用しており、岡山県内における事業活動量（おもに発電電力量）はこの運用状況に大きく影響を受けるため、岡山県内に限った温室効果ガスの削減目標を社として設定することは困難であるため、「目標削減率」としては省エネ法上の削減目標である「年1%低減」を準用しました。ただし、原単位あたりの排出量は前述の運用状況により大きく変動します。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

- ◆社長が環境管理の最高責任者として全社の環境管理を統括し、環境部門長が全社環境管理推進者として運用管理を行っています。
- ◆各事業所等では、事業所等の長が環境管理を統括し、環境管理推進者（副所長クラス）が中心となって、環境管理活動を推進しています。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
水島発電所	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆水島発電所1号機は、使用する燃料を石炭から天然ガスへ転換するとともに、コンバインドサイクル発電方式を採用した設備に改造し、2009年4月8日に営業運転を開始しました、この改造により、約50%という高い熱効率での運転が可能となりました。</li> <li>◆水島発電所3号機について従来の重・原油からLNGへ燃料転換しました。（運転開始：2006年4月）</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
玉島発電所	◆玉島発電所1号機は、石油を燃料とする火力発電所ですが、優れた環境特性をもつLNGも利用可能とするため、ボイラと一部設備の改造を行っています。（営業運転開始予定：2014年4月）
全社	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆安全の確保(Safety)を大前提とした、供給安定性(Energy security)、経済性(Economic growth)、環境保全(Environmental conservation)の3つのEの同時達成を目指す「S+3E」の観点から、バランスのとれた電源構成の実現を目指しつつ、電気の供給面・使用面での取り組み等により、引き続きCO<sub>2</sub>の排出削減に努めていきます。</li> <li>◆改正省エネ法の趣旨を踏まえ、「オフィスでの延床面積あたりの電気使用量の年1%程度低減」を環境管理目標に掲げ、目標達成に向けて引き続き取り組んでいきます。</li> <li>◆電気自動車の一般普及を図るため、平成32年(2020年)度までに累計700台導入を目指しています。</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	有	吉井川・高梁川の上流に、水源かん養りんを保有し、枝打ちや間伐など適切な維持管理をしています。
その他	有	広島県の太田川の上流に、水源かん養りんを保有し、枝打ちや間伐など適切な維持管理をしています。

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	有	2020年度までに、1万kW程度の設置を目安にメガソーラー発電の導入に取り組んでいます。現在、2013年10月の着工に向けて、山口県宇部市西沖の山の当社所有地において2カ所目の建設に取り組んでいます。

**【その他特記事項】**

- ◆供給安定性・経済性に優れる石炭火力を将来にわたって活用していくため、「高効率化」と「クリーン化」に資する技術として、CO<sub>2</sub>を大幅に削減する石炭ガス化燃料電池複合発電（IGFC）を目指し、その基盤技術である酸素吹石炭ガス化複合発電（酸素吹IGCC）の実証試験設備の建設に2013年3月から着工しています。
- ◆地球温暖化防止に向けて、民生部門の取り組みがますます重要になっていることを踏まえ、「エコ・オフィス実践行動プラン」・「エコ・ライフ実践行動プラン」により、日常業務・生活に密着した省エネルギー、省資源・リサイクル活動をエネルギーグループ全体で展開しています。
- ◆テレビCMやホームページを通じた省エネ・節電PRによる情報提供を実施しており、お客さまの生活シーンにマッチした省エネ・節電のさまざまな手法・アイデアを紹介しています。